

12/29 38井

東京地検

大野議員を家宅捜索

裏金事件 安倍派2日連続



大野泰正
参院議員

連続の強制捜査になった。

特捜部は政治資金規正法違反（不記載など）の疑いで、高額還流議員を重点捜査し、政治家本人の立件の可否を検討する。

自民党安倍派（清和政策研究会）の政治資金パーティーを巡る事件で東京地検特捜部は28日、5千万円超の還流を受け裏金にしたと記載せず議員側に還流支出にも記載せず「受領した議員側も収入として書いていた」がわからぬ2018年以降の5年間で、徳田謙一が

代田区にある議員会館事務所や議員宿舎など関係先を家宅捜索した。大野氏は任意で事情聴取している。

【5、27面に関連記事】

4千万円超を受領したとされる池田佳隆衆院議員（比例東海）に続き、2日

でも1千万円超の還流があったとされ、大野氏や池田氏の還流金額が突出していた。特捜部は大野氏や池田氏が関連政治団体の会計責任者から不記載について報告を受けるなどしていかつたか調べ、違法性の認識を確認する。大野氏は今月7日付で、資金管理団体「泰士会」の22年分の收支報告書を訂正し、同年に3回実施された「大野泰正政経オーラム開催事業」の収入を計450万円減額。一方池田氏の資金管理団体「池田黎明会」も8日付で収支報告書を訂正し、20～22年に派閥から計3208万円の寄付があつたとした。

松野博一前官房長官や高木毅前国対委員長、世耕弘成前参院幹事長ら、安倍派幹部